

神奈川県立みどり養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和4年度 第3回みどり養護学校運営協議会	
開催日時	令和4年 11月 11日(金)10:00~12:00	
開催場所	みどり養護学校会議室	
出席者	神奈川県立みどり養護学校 学校運営協議会委員9名(本校校長を含む) 神奈川県立みどり養護学校 学校運営協議会事務局教職員6名	
次回開催予定日	令和4年2月 22日(水) 10:00~12:00	
問い合わせ先	みどり養護学校 副校長 菅原 肇 電話 045-471-7941 Fax 番号 045-474-4707	
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由
審議(会議)経過	<p>審議(会議)事項</p> <p>1 学校運営協議会会長挨拶</p> <p>2 学校長挨拶 ・令和5年度からの校名変更について</p> <p>3 学校評価部会 ・令和4年度中間評価について</p> <p><質問・意見></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○教育相談の相談回数は多くなってきているのか。 ⇒コロナ前と同じくらいである。昨年度は年度末で20前後。コロナ前は単発が多かったが、今は継続の学校も多い。同じ学校に4回行ったケースがある。</p> <p>○特に小学校の教員への意識付け、支援をしていくことが大切である。子どもたちが地域で学ぶためには、小学校の先生の意識を変えていく必要がある。</p> <p>○教育課程において、学部間の系統性は非常に大切である。学校全体を見る視点で実施できていることは、非常に良い。学びの連続性は非常に大切である。清掃活動についてなど、特に小・中学部はゴミ捨て等の役割分担を通して、達成と称賛を繰り返して自尊感情を育むことにつなげてほしい。高等部の清掃技能検定についても、頑張してほしい。</p> <p>○人権教育における自尊感情の育成については、それぞれの課題に明確に取り組んでいるところが良い。</p> <p>○子どもたちに身につけさせたい力について、保護者からのフィードバックをもらい、自宅での生活の変容を調べると良い。</p> <p>○アセスメントは充実してきたと思う。全学部で取り組むことが定着してきた。</p> <p>○交流及び共同学習は、城郷中学校との交流など、良い交流ができて</p> <p>○進路学習については、小・中学部からの支援、役割分担と達成と称賛を繰り返していくことが大切である。</p> <p>○地域との協働では、日々の活動を積極的に発信しているところが非常に良い。地域の反応が気になる。タウンニュースの依頼はしていないのか。 ⇒今年は3回、「東本郷郵便局展示」「折り鶴プロジェクト」「模擬選挙」について掲載されている。</p> <p>○防災活動に参加した。日々の訓練が子どもたちの動きにつながっていることがわかる訓練だった。実際のことを想定した訓練が大切である。登校前を想定した訓練などは、ぜひ続けていただきたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>○コロナで2~3年間制約があったが、いろいろな意味で、一つの起点となるのが、外との交流である。生徒が会社見学等に出ていって、刺激を受けることができる教育を行うとともに、教職員も刺激を受けてほしい。</p> <p>○この1年で(会社は)支援学校とのつきあいが活発になっている。中学部保護者の会社見学や討論会など、様々な試みが始まっている。中学部、高1・2年のうちから、外を学ぶ機会をつくることは大きい。生徒とあわせて保護者にも学ぶ機会の提供をお願いしたい。</p> </div>	

	<p>○小中高生が同じ学校にいるメリットがある。先輩が後輩を指導できる。指導する立場になることでの気づきがあり、成長していくことができる。後輩も先輩を見ながら成長することができる。</p> <p>○新栄高校では、7月の避難訓練は雨となり、シェイクアウト訓練を新栄分教室と一緒にやった。12月にまた一緒に訓練できればと思っている。模擬投票、9月の文化祭も一緒にさせていただいた。きちんと一人ひとりが自分の形で一所懸命説明していた。新栄高校の初任者に対する研修を新栄分教室にお願いしている。</p> <p>○アセスメントについては、太田ステージに関心を持った。分教室でも活用しているのか。⇒活用している。理解しているように見えても、意外に理解していないことへの気づきにつながる。</p> <p>○表面上は同じ行動でも、人によって言葉かけの内容は異なるため、こうした対応はすばらしい。</p> <p>○地域との関係は1度出来ると継続する。関係づくりをこちらから投げかけているのか。⇒昨年あたりから、支援級の会議やコーディネーター会議に出かけて、チラシを配付して宣伝している。それも増加の要因になっている。</p> <p>○学校から仕掛けていくことが大切である。学校から積極的に働きかけてほしい。</p> <p>○ひがほん郷まつりの参加者は1500人だった。やってよかった。地域はコロナで何もできていなかった。今後いろいろな活動が出てくると思うので、御協力をいただければと思っている。</p> <p>○小中高と連携した体験をすることによって、同じことを体験することは大切である。進路等においては、体験した保護者や生徒の話をする、実体験を踏まえた話のほうが効果がある。</p> <p>○公園の花壇づくりをした結果として、花が咲いたとか、喜んで貼っている雰囲気もある。だれかが見ていてくれているとそれが子どもたちの励みになる</p> <p>○防災センターで体験してきた。設備が整っている。体験に勝るものは無い。煙の中をあるくなど、そういうものをうまく活用していけるとよい。ぜひ生徒だけでなく教職員の方も体験してほしい。 地域の活動の中で一緒に関わっていきたい。人口も増えており、まだここに支援学校があることを知らない方もいる。周知しながら交流していきたい。</p> <p>4 校内見学 ・教室環境についての現状と課題を共有</p> <p>5 事務連絡 ・次回開催予定等</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>・第3回学校運営協議会次第 ・中間評価スライド ・令和5年度みどり支援学校施設環境について ・令和4年度 みどり養護学校教室配置図 ・第1回学校運営協議会記録 ・第2回学校運営協議会書面開催回答</p>